

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	5年間(2012年5月30日～2017年5月29日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、米国の株式(※)の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)をいいます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。</p> <p>ハ. 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値(※)と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。</p> <p>※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「Aコース(為替ヘッジあり)」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー

Aコース(為替ヘッジあり) Bコース(為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2015年11月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー」は、このたび、第7期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3847>
<3848>

★ Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期末 (2013年11月28日)	11,081	850	9.2	13,564	9.6	90.3	—	2,968
4期末 (2014年5月28日)	11,338	200	4.1	14,349	5.8	91.7	—	2,648
5期末 (2014年11月28日)	11,214	1,200	9.5	15,557	8.4	89.5	—	2,390
6期末 (2015年5月28日)	11,014	600	3.6	15,937	2.4	94.2	—	2,331
7期末 (2015年11月30日)	9,990	0	△ 9.3	15,687	△ 1.6	93.0	—	2,049

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

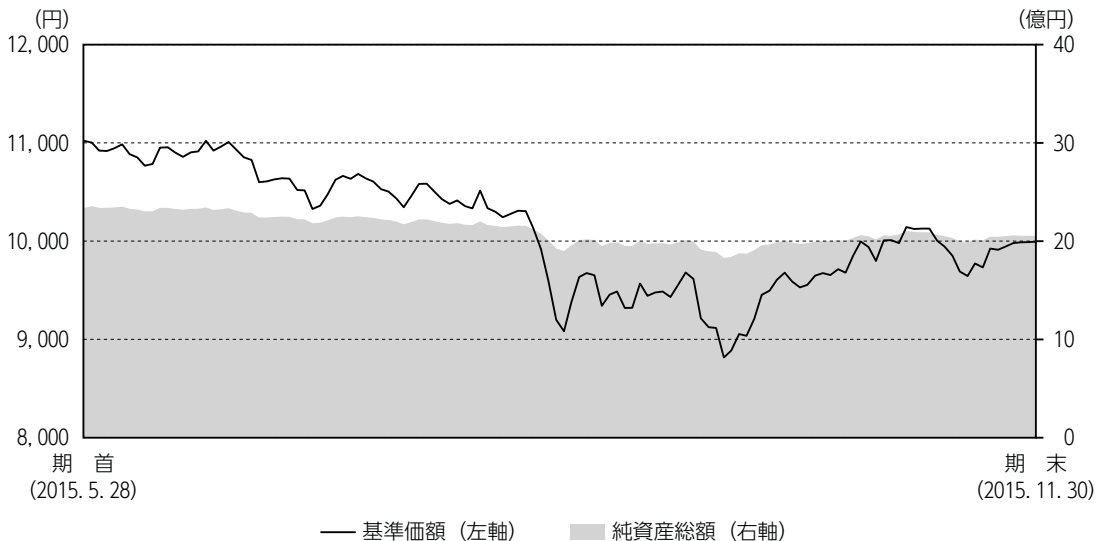
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：11,014円

期末：9,990円

騰落率：△9.3%

■基準価額の主な変動要因

資源価格の下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
(期首) 2015年 5月28日	円	%			%	%
	11,014	—	15,937	—	94.2	—
5月末	10,996	△ 0.2	15,917	△ 0.1	93.1	—
6月末	10,595	△ 3.8	15,443	△ 3.1	90.8	—
7月末	10,579	△ 3.9	15,826	△ 0.7	92.1	—
8月末	9,671	△ 12.2	14,927	△ 6.3	93.3	—
9月末	8,885	△ 19.3	14,140	△ 11.3	93.3	—
10月末	10,005	△ 9.2	15,681	△ 1.6	92.8	—
(期末) 2015年11月30日	9,990	△ 9.3	15,687	△ 1.6	93.0	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや米国の利上げ観測などから、上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことにより、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、利益率の上昇が期待され、本源的価値と比較して割安な銀行や保険会社などの金融セクター、原油価格下落や好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、グローバルに競争力が高い企業が多い情報技術セクター中心に投資してまいります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

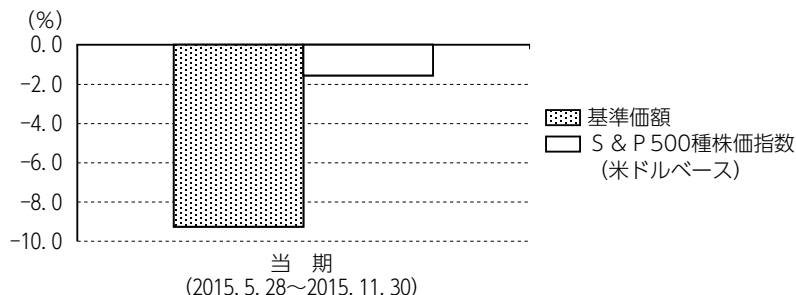
当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配は見送りとさせていただきます。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年5月29日	～2015年11月30日
当期分配金（税込み）（円）		—
対基準価額比率（％）		—
当期の収益（円）		—
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		807

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

セクター別では、利益率の改善が期待される金融セクター、好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクターを中心に投資してまいります。地政学リスクの高まりなどから株価が大きく調整した場合には、一貫した投資哲学のもと本源的価値対比で割安になった優良銘柄への投資機会を探ってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29~2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	96円	0. 949%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 100円です。
(投信会社)	(54)	(0. 538)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0. 384)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 029	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(3)	(0. 029)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0. 001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0. 030	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0. 017)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	102	1. 008	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	22,144	50,000	59,590	156,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,104,174千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,543,222千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.05

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	844,162	806,716	2,039,863

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,039,863	97.0
コール・ローン等、その他	62,556	3.0
投資信託財産総額	2,102,420	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.82円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(12,194,161千円)の投資信託財産総額(12,320,122千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,038,048,364円
コール・ローン等	62,556,585
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	2,039,863,569
未収入金	1,935,628,210
(B) 負債	1,988,411,620
未払金	1,964,320,000
未払解約金	3,993,200
未払信託報酬	20,040,596
その他未払費用	57,824
(C) 純資産総額 (A - B)	2,049,636,744
元本	2,051,707,296
次期繰越損益金	△ 2,070,552
(D) 受益権総口数	2,051,707,296口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,990円

* 期首における元本額は2,116,910,700円、当期中における追加設定元本額は59,255,324円、同解約元本額は124,458,728円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,990円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,070,552円です。

■損益の状況

当期 自2015年5月29日 至2015年11月30日

項 目		当 期
(A) 配当等収益		9,622円
受取利息		9,622
(B) 有価証券売買損益	△	185,538,007
売買益		91,119,048
売買損	△	276,657,055
(C) 信託報酬等	△	20,109,220
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△	205,637,605
(E) 前期繰越損益金		117,286,193
(F) 追加信託差損益金		86,280,860
(配当等相当額)	(48,382,657)
(売買損益相当額)	(37,898,203)
(G) 合計 (D + E + F)	△	2,070,552
次期繰越損益金 (G)	△	2,070,552
追加信託差損益金		86,280,860
(配当等相当額)	(48,382,657)
(売買損益相当額)	(37,898,203)
分配準備積立金		117,286,193
繰越損益金	△	205,637,605

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：6,179,240円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	48,382,657
(d) 分配準備積立金	117,286,193
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	165,668,850
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	165,668,850
(h) 受益権総口数	2,051,707,296口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★Bコース (為替ヘッジなし)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期末 (2013年11月28日)	11,328	750	9.3	17,390	9.9	88.4	—	4,645
4期末 (2014年5月28日)	11,380	400	4.0	18,397	5.8	92.1	—	4,268
5期末 (2014年11月28日)	11,421	2,900	25.8	23,133	25.7	90.7	—	4,023
6期末 (2015年5月28日)	11,414	950	8.3	24,786	7.1	92.0	—	5,465
7期末 (2015年11月30日)	10,259	0	△ 10.1	24,231	△ 2.2	93.0	—	5,228

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

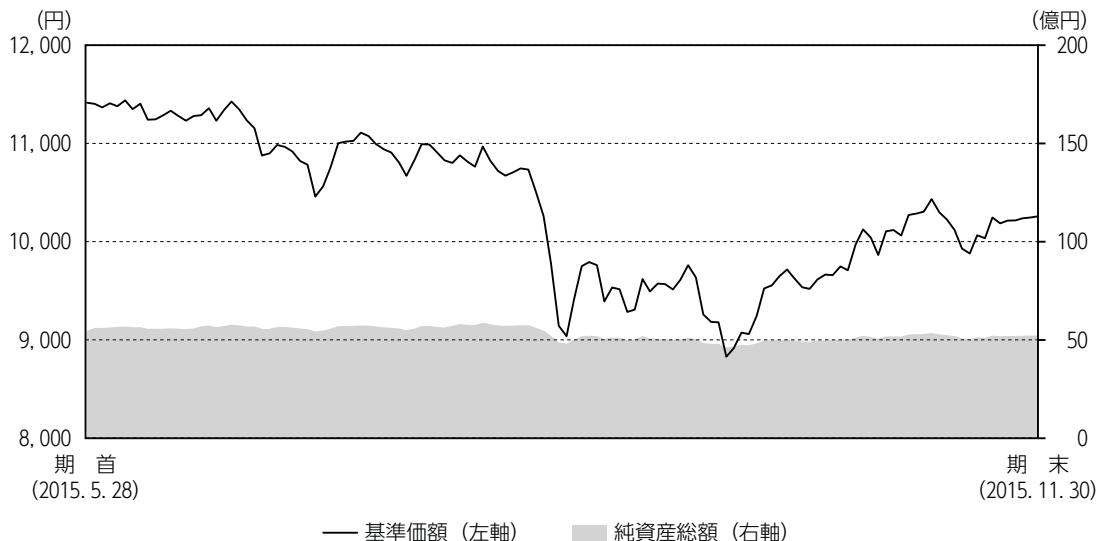
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：11,414円

期末：10,259円

騰落率：△10.1%

■基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落したことや、資源価格の下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2015年5月28日	円	%		%	%	%
	11,414	—	24,786	—	92.0	—
5月末	11,403	△ 0.1	24,769	△ 0.1	89.0	—
6月末	10,877	△ 4.7	23,783	△ 4.0	91.6	—
7月末	10,989	△ 3.7	24,689	△ 0.4	91.9	—
8月末	9,792	△ 14.2	22,750	△ 8.2	93.8	—
9月末	8,915	△ 21.9	21,334	△ 13.9	93.9	—
10月末	10,119	△ 11.3	23,844	△ 3.8	92.7	—
(期末) 2015年11月30日	10,259	△ 10.1	24,231	△ 2.2	93.0	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや米国の利上げ観測などから、上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことにより、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して期末を迎えました。

○為替相場

米ドルの対円為替相場は、期首より、米国のマクロ経済指標などを受けて、米国の利上げへの期待が高まったことなどが支援材料となり、底堅い展開が続きました。2015年8月以降は、中国株式市況の急落などから投資家のリスク回避の円買いの動きが活発化したことで調整しました。10月以降は、ECBの金融緩和姿勢の拡大や中国の追加的な金融緩和を背景に市場のリスク選好度が高まったことによる円売り圧力の強まりなどを受けて、下げ幅を縮小して期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、利益率の上昇が期待され、本源的価値と比較して割安な銀行や保険会社などの金融セクター、原油価格下落や好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、グローバルに競争力が高い企業が多い情報技術セクター中心に投資してまいります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

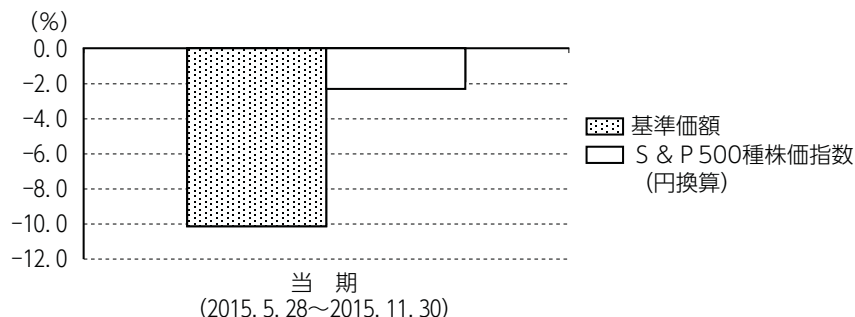
当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配は見送りとさせていただきます。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年5月29日	～2015年11月30日
当期分配金（税込み）（円）		—
対基準価額比率（％）		—
当期の収益（円）		—
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		719

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

セクター別では、利益率の改善が期待される金融セクター、好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクターを中心に投資してまいります。地政学リスクの高まりなどから株価が大きく調整した場合には、一貫した投資哲学のもと本源的価値対比で割安になった優良銘柄への投資機会を探ってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29~2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	98円	0. 949%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 345円です。
(投信会社)	(56)	(0. 538)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(40)	(0. 384)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 029	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(3)	(0. 029)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0. 001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0. 029	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0. 017)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	104	1. 008	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	330,311	879,000	202,178	494,500

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,104,174千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,543,222千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.05

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	1,930,744	2,058,878	5,206,079

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	5,206,079	98.6
コール・ローン等、その他	73,766	1.4
投資信託財産総額	5,279,845	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.82円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(12,194,161千円)の投資信託財産総額(12,320,122千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,279,845,804円
コール・ローン等	73,766,575
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	5,206,079,229
(B) 負債	50,893,164
未払信託報酬	50,746,590
その他未払費用	146,574
(C) 純資産総額 (A - B)	5,228,952,640
元本	5,096,909,164
次期繰越損益金	132,043,476
(D) 受益権総口数	5,096,909,164口
1万円当り基準価額 (C / D)	10,259円

* 期首における元本額は4,787,987,281円、当期中における追加設定元本額は975,861,478円、同解約元本額は666,939,595円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,259円です。

■損益の状況

当期 自2015年5月29日 至2015年11月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	18,632円
受取利息	18,632
(B) 有価証券売買損益	△ 483,767,794
売買益	77,162,446
売買損	△ 560,930,240
(C) 信託報酬等	△ 50,893,164
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 534,642,326
(E) 前期繰越損益金	84,664,998
(F) 追加信託差損益金	582,020,804
(配当等相当額)	(282,295,970)
(売買損益相当額)	(299,724,834)
(G) 合計 (D + E + F)	132,043,476
次期繰越損益金 (G)	132,043,476
追加信託差損益金	582,020,804
(配当等相当額)	(282,295,970)
(売買損益相当額)	(299,724,834)
分配準備積立金	84,664,998
繰越損益金	△ 534,642,326

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 15,680,251円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	282,295,970
(d) 分配準備積立金	84,664,998
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	366,960,968
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	366,960,968
(h) 受益権総口数	5,096,909,164口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2015年11月30日)

(計算期間 2015年5月29日～2015年11月30日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みません。）
運用方法	<p>①主として、米国の株式（※）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。</p> <p>ハ. 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値（※）と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。</p> <p>※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

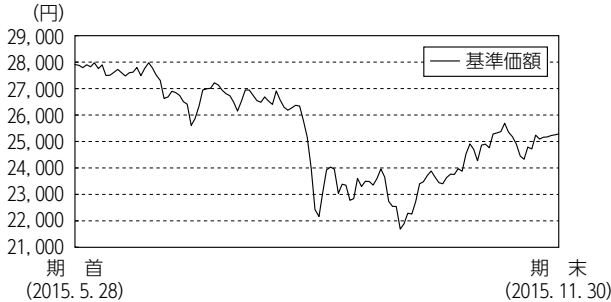
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P500種株価指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首)2015年5月28日	27,910	—	24,786	—	93.3	—
5月末	27,882	△ 0.1	24,769	△ 0.1	93.0	—
6月末	26,630	△ 4.6	23,783	△ 4.0	92.3	—
7月末	26,947	△ 3.5	24,689	△ 0.4	92.5	—
8月末	24,034	△ 13.9	22,750	△ 8.2	94.4	—
9月末	21,895	△ 21.6	21,334	△ 13.9	94.2	—
10月末	24,902	△ 10.8	23,844	△ 3.8	93.0	—
(期末)2015年11月30日	25,286	△ 9.4	24,231	△ 2.2	93.4	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：27,910円 期末：25,286円 騰落率：△9.4%

【基準価額の主な変動要因】

米ドルが対円で下落したことや、資源価格の下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや米国の利上げ観測などから、上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことにより、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB (欧州中央銀行) のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して期末を迎えました。

○為替相場

米ドルの対円為替相場は、期首より、米国のマクロ経済指標などを受けて、米国の利上げへの期待が高まったことなどが支援材料となり、底堅い展開が続きました。2015年8月以降は、中国株式市況の急落などから投資家のリスク回避の円買いの動きが活発化したことで調整しました。10月以降は、ECBの金融緩和姿勢の拡大や中国の追加的な金融緩和を背景に市場のリスク選好度が高まったことによる円売り圧力の強まりなどを受けて、下げ幅を縮小して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってもらいます。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が堅固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、利益率の上昇が期待され、本源的価値と比較して割安な銀行や保険会社などの金融セクター、原油価格下落や好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、グローバルに競争力が高い企業が多い情報技術セクター中心に投資してまいります。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組入れました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

セクター別では、利益率の改善が期待される金融セクター、好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクターを中心に投資してまいります。地政学リスクの高まりなどから株価が大きく調整した場合には、一貫した投資哲学のもと本源的価値対比で割安になった優良銘柄への投資機会を探ってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	7円 (7)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (3) (4)
合 計	14

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		14,232	57,787	6,660	33,310
		()	(△)		
		()	(△)		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

当 期				期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CUMMINS INC (アメリカ)	48.5	735,172	15,158	AMAZON.COM INC (アメリカ)	11.4	769,093	67,464
ANADARKO PETROLEUM CORP (アメリカ)	80	696,314	8,703	VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	37.5	336,197	8,965
APPLIED MATERIALS INC (アメリカ)	220	441,556	2,007	HALLIBURTON CO (アメリカ)	64	290,571	4,540
WELLS FARGO & CO (アメリカ)	61.5	417,746	6,792	FRANKLIN RESOURCES INC (アメリカ)	53	267,055	5,038
CHARTER COMMUNICATION-A (アメリカ)	16.6	382,790	23,059	NATIONAL OILWELL VARCO INC (アメリカ)	50	245,612	4,912
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	47	350,825	7,464	INTEL CORP (アメリカ)	65.5	244,310	3,729
CATERPILLAR INC (アメリカ)	36	345,370	9,593	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	30	213,284	7,109
INTEL CORP (アメリカ)	85.5	328,807	3,845	AON PLC (イギリス)	18.5	203,364	10,992
GENERAL MOTORS CO (アメリカ)	80	327,236	4,090	WELLS FARGO & CO (アメリカ)	30.5	191,714	6,285
JPMORGAN CHASE & CO (アメリカ)	40	324,774	8,119	JPMORGAN CHASE & CO (アメリカ)	21	158,396	7,542

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
TRIBUNE MEDIA CO - A	730	1,050	3,918	481,282	一般消費・サービス
APPLE INC	110	145	1,708	209,806	情報技術
JPMORGAN CHASE & CO	720	910	6,112	750,733	金融
CATERPILLAR INC	410	640	4,558	559,823	資本財・サービス
CUMMINS INC	—	440	4,388	539,002	資本財・サービス
FRANKLIN RESOURCES INC	530	—	—	—	金融
AMAZON.COM INC	102	—	—	—	一般消費・サービス
GENERAL MOTORS CO	1,390	1,780	6,473	795,119	一般消費・サービス
HALLIBURTON CO	440	—	—	—	エネルギー
CHARTER COMMUNICATION-A	—	166	3,108	381,747	一般消費・サービス
CBRE GROUP INC - A	855	1,120	4,182	513,643	金融
GLENORE PLC -UNSP ADR	6,029	8,750	2,375	291,774	素材
TIFFANY & CO	250	470	3,747	460,244	一般消費・サービス
NOW INC	695	1,000	1,811	222,427	資本財・サービス
WELLS FARGO & CO	1,030	1,340	7,422	911,601	金融
VISA INC-CLASS A SHARES	480	270	2,155	264,760	情報技術
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	930	1,100	7,004	860,329	金融
ANADARKO PETROLEUM CORP	—	680	4,128	507,035	エネルギー
AON PLC	500	580	5,489	674,244	金融
APPLIED MATERIALS INC	570	2,680	4,990	612,891	情報技術
NATIONAL OILWELL VARCO INC	400	—	—	—	エネルギー

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
INTEL CORP	1,370	1,570	5,410	664,483	情報技術	
CARMAX INC	360	540	3,100	380,759	一般消費・サービス	
MICROSOFT CORP	950	1,150	6,201	761,723	情報技術	
BLACKROCK INC	110	152	5,447	669,065	金融	
フ ァ ン ド	株数、金額	18,961	26,533	93,734	11,512,499	
合 計	銘柄数<比率>	22銘柄	21銘柄		<93.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	11,512,499 千円	93.4 %
コール・ローン等、その他	807,622	6.6
投資信託財産総額	12,320,122	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝122.82円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(12,194,161千円)の投資信託財産総額(12,320,122千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,320,122,540円
コール・ローン等	783,307,657
株式(評価額)	11,512,499,784
未収配当金	24,315,099
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	12,320,122,540
元本	4,872,239,253
次期繰越損益金	7,447,883,287
(D) 受益権総口数	4,872,239,253口
1万口当り基準価額(C/D)	25,286円

* 期首における元本額は3,770,345,489円、当期中における追加設定元本額は2,585,437,654円、同解約元本額は1,483,543,890円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイーAコース(為替ヘッジあり)806,716,590円、ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイーBコース(為替ヘッジなし)2,058,878,126円、ダイワ米国厳選パリュール株ファンド(ダイワSMA専用)2,006,644,537円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は25,286円です。

■損益の状況

当期 自2015年5月29日 至2015年11月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	104,981,665円
受取配当金	104,913,184
受取利息	68,481
(B) 有価証券売買損益	△ 1,338,542,491
売買益	465,558,956
売買損	△ 1,804,101,447
(C) その他費用	△ 2,855,172
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,236,415,998
(E) 前期繰越損益金	6,752,693,049
(F) 解約差損益金	△ 2,112,956,110
(G) 追加信託差損益金	4,044,562,346
(H) 合計(D+E+F+G)	7,447,883,287
次期繰越損益金(H)	7,447,883,287

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。